

大好き！絵本

初瀬 恵美



『いきものづくし
ものづくし』
出版社：福音館書店

今、子どもたちに大人気の絵本が『いきものづくし ものづくし』です。1ページがA3サイズもある大きな本の中には、**自然が生み出してきた「いきもの」と、ひとが作り出してきた「もの」**の絵が沢山描かれて、多様性が詰め込まれています。巻末の封筒には、別冊「よんでたのしむ いきものづくし ものづくし」も入っていますが、別冊の出番はほとんどありません。絵を見ると、つついおしゃべりしたり、物語を連想したり、心が動かされる子ども達。だからこそ、心動くその時間を今は大切にしています。

さて先日、年中さんと「畑」について話していたときの事です。「何を植えたい？」ときくと、「いちご」「りんご」「マンゴー」など果物のオンパレード(笑)。なかには「チョコレート」という子も。もはや、加工品だよなぞと思ったのも束の間、即座に「それなら、カカオを植えればいいんだよ！チョコレートは、カカオ！」とこうきちくんが教えてくれました。よく知ってますよね。その話が楽しくて話が膨らんでいきそうでしたが

そうともいわず、『ねえ、最近みんながよく見ている大きな絵本のなかに、畑の野菜が載っている本はなかった？』と尋ねてみました。すると、いっくんが「あるよ。11番！」とすぐに答えてくれて、数名で急いで取りに行ってくれました。本が手元に届くとすぐに、こうきちくんが「2ページ目！」と教えてくれました。11冊もあるなかで、どの番号に、何が描かれているか、しかも、ページまで把握するほど、この絵本が大好きで、何度も何度も見ているんだと嬉しくなりました。

そして「11」の2ページ目を開くと「じめんのしたにできるやさしい」がどど～んとのっていました。野菜を見ると、イメージもグリーンと広がり、「私は〇〇」「オレは▲▲と□□！」など、盛り上がりました。



そこで、「好きな野菜、育てたい野菜を2つ選んでお家の人に育て方を聞いてみよう」ということになりました。でも「おうちの人が知らなかったら？」という話になると「ネット」「YouTube！」「SNS」と似たようなワードが飛びかいました。さすが現代っ子です。それも大切なツールです。しかし、いろいろな調べ方があることや、畑名人を探して、学んでゆく体験も大切にしたいなと密かに思っています。年長さんの卒園記念制作の案に「畑の看板」というものがありました。まだ、決定していませんが、案の中に上がったことをとても嬉しく思いました。お亡くなりになられた船本さんとのつながりを大切に想い、今年度の最後はこの絵本にさせていただきました。

誕生日おめでとう